

施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
社会福祉施設等衛生用品確保対策事業	福祉保健企画課	1 / 2
軽症者等療養体制整備事業	医療政策課	1 / 2
結核地域医療体制強化事業	感染症対策課	1 / 2
感染症予防対策事業	感染症対策課	2 / 2
家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	畜産振興課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-8-(4)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針	
1	社会福祉施設等衛生用品確保対策事業 (R1 ~ R2) 福祉保健企画課 社会福祉施設等の感染症対策に関する衛生用品の配布や、経費を助成し、新型コロナウイルス感染症対策の充実を図る。	①社会福祉施設等の感染症対策の支援 ・供給が逼迫した衛生用品を県が一括購入し、施設へ配布 ・感染症対策に関する経費の助成	社会福祉施設等の衛生用品の不足を補い、施設が独自に取り組む感染症対策による人件費の増加や研修費等を助成し、新型コロナウイルス感染症対策の充実を図った。	
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	予算	40,056	3,213,735	
	決算	6,971	2,888,201	

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針	
2	軽症者等療養体制整備事業 (R2 ~ R2) 医療政策課 重症者等に対する入院医療の提供に支障をきたすことを防ぐため、無症状や軽症の新型コロナウイルス感染症患者が療養する宿泊施設及び常駐する医療従事者等を確保する。	①宿泊療養施設の開設・運営 ・杜の湯リゾート (4/30~6/30) ・コモドホテルOITA (8/8 ~)	令和2年度は570名を受入れた。 必要時における早急な施設開設が課題であったが、事前に協力事業者と協定を結ぶことにより、短期間での開設を行うことができた。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症患者の受入医療機関の病床確保と一体的に取組を進めるため、「新型コロナウイルス感染症療養体制確保事業」を実施する。	
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	予算		577,519	
	決算		393,311	

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価	
3	結核地域医療体制強化事業 (R2 ~ R4) 感染症対策課 結核のまん延を防止し、結核罹患率を低下させるため、結核診療医師を養成するほか、住み慣れた地域での結核診療受診を可能とするため、結核診療支援センターを設置し、地域における結核医療体制を強化する。	①結核診療医師の養成確保 19,974 ②結核診療支援センター業務委託 2,054	結核モデル病床や第二種感染症指定医療機関、施設に対する支援回数	目標値		45	108	臨床研修を終了した医師の県内医療機関への配置数 [人]	目標値		2	2	A	
				実績値		47	—		実績値		2	—		
				[回]	達成率		104.4%		—	達成率		100.0%		—
				[人]										
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
	予算		22,028	22,028										
	決算		22,027	—										
									事業の成果・今後の方針					

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-8-(4)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容			事業の成果・今後の方針	
4	感染症予防対策事業 (~) 感染症対策課 感染症対策のため、感染症に関するサーベイランスの実施や検査体制の整備等を図る。	①感染症発生動向調査 ②新型コロナウイルス感染症対策に係る、医療機関の設備整備や保健所・衛生環境研究センターの検査体制整備等			新型コロナウイルス感染症対策として、医療機関における必要資機材や診療体制の整備を行うとともに、検査体制の整備を進めることが出来た。 引き続き、新型コロナウイルス等の感染症に対処するため体制の充実を推進していく。	
		区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		予算	120,784	16,172,375		39,102
		決算	68,339	15,289,872		—

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容			事業の成果・今後の方針	
5	家畜伝染病緊急防疫体制整備事業 (H23 ~) 畜産振興課 口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の早期封じ込めと、まん延防止措置を迅速に行うための対策を講じる。	①発生農場の処分畜等の処理による封じ込め対策 ・死亡畜産等汚染物の処理対策、初動防疫活動 ②消毒ポイント設置によるまん延防止対策 ・緊急消毒ポイントの設置 ③県内家畜等飼養施設の清浄性維持対策 ・消石灰による緊急消毒、発生状況調査 ④畜産経営安定対策 ・移動制限による売上減少額の補填			令和2年12月10日に佐伯市で発生した高病原性鳥インフルエンザの際には、初動防疫作業に必要な埋却や資材の調達などを行った。また、国内での高病原性鳥インフルエンザの発生は1月以降も続いたため、県内の統発に備えて50万羽規模での発生に備えた備蓄資材を購入した。 今後も高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が危惧されることから、万が一の発生に備え、引き続き事業を継続する。	
		○高病原性鳥インフルエンザ：令和2年11月5日に香川県で発生後、令和3年3月26日時点で国内で52例発生。県内でも令和2年12月10日に佐伯市で発生。 【県内での発生予防、まん延防止】 ・空港及び海港（3港）への消毒マットの設置、県内養鶏農場への消石灰の配布 【発生時の対応・統発への備え】 ・佐伯市での発生時の初動防疫対応のための資材等。統発に備えた備蓄資材（防護服、長ぐつなど）の補充（50万羽分） ○アフリカ豚熱：野生イノシシの侵入を防止するための防護柵の設置（32農場）				
		区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		予算	30,315	293,558		500,000
決算	30,314	293,558	—			